

## 事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月24日
2次評価日（課長等）	2年3月25日

1 事業名	消防団活動事業	コード	10102
-------	---------	-----	-------

2 担当部課	部等 総務部	課等 消防課	作成者 中嶋 一雄
--------	--------	--------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	安全・安心で、自然環境と共生するまち		
		政 策	安全対策の推進	施 策	危機・防災・減災対策の推進と消防力の強化
		予算科目	消防団活動事業費	業務委託	
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	消防組織法第9条		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	市民の安全、安心の確保を図るため、地域防災の中核的存在としての消防団活動全般		
目的	対象者	市民	
	意 図	火災等の災害から、市民の生命、身体及び財産を守り、安全・安心な都市の形成	

5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<p>〈消防団出動〉  【出動：388件 延出動人員：8,311人】  ①災害等出動  （内訳：火災6件/風水害2件/演習118件/捜索0件/広報指導21件/特別警戒29件/調査0件/その他98件）  ②実践を想定した訓練 実施回数118件 延出動人員3,150人  （主な訓練：消防団消防署合同訓練73人/岡谷市消防操法・ラッパ吹奏大会296人）  ③岡谷市消防出初式 出動人員272人  【防火衣整備事業】  消防団員が火災等の災害現場において安全かつ確実に活動するため、個人装備の充実強化を目的に、耐火性能、耐切削性能に優れ、夜間や暗所での視認性も高い高機能防火服および防火ヘルメット、防火長靴、防火手袋、安全帯を一式とした装備を岡谷市消防団、全11個分団に各6名分、計66名分を配備した。</p>			
前年度の課題への対応	特になし		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	訓練等実施回数			単位	回
実績値	3	3	3		
*指標の説明	岡谷市消防出初式、ポンプ操法・ラッパ吹奏大会、中継放水訓練への参加				
② 成果指標（指標名）	出動人数			単位	人
目標値	1,070	1,070	1,070	1,070	
実績値	692	624	641		
達成度	64.7%	58.3%	59.9%		
*指標の説明	出動報告による				
*目標値の設定方法の説明	団員実員×3回(出初式、ポンプ走法・ラッパ吹奏大会、中継放水訓練)の65パーセントを目標とする。				

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	67,742,660	65,442,137	74,423,722	65,358,000
経常経費	67,742,660	65,442,137	74,423,722	65,358,000
臨時的経費				
* 臨時的経費の説明				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	15,200,000	15,200,000	15,200,000	15,200,000
正規職員の人数(人)	1.90	1.90	1.90	1.90
③ 合計コスト(①+②)	82,942,660	80,642,137	89,623,722	80,558,000
前年度比		97.2%	111.1%	89.9%
財源				
一般財源	72,653,858	70,578,436	78,685,264	69,385,000
内訳				
特定財源	10,288,802	10,063,701	10,938,458	11,173,000
* 特定財源の説明	消防団退職報償金収入、公務災害補償金等収入、遺族補償年金収入、福祉共済事務交付金収入、福祉共済返戻金収入、地域活動助成事業助成金、消防団員安全装備整備事業助成金			
④ 活動一単位あたりコスト	27,647,553	26,880,712	29,874,574	
前年度比		97.2%	111.1%	
⑤ コストに関する補足説明	令和元年度、防火衣の更新をしたため増額となった。			

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
諏訪消防協会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	590,202	586,758	576,438	580,000
分団運営交付金	件数	1	1	1	1
	金額	7,411,300	7,411,300	7,411,300	7,412,000
団長会議等出席負担金	件数	2	2	2	2
	金額	14,000	14,000	14,000	14,000
団員等公務災害補償基金掛金	件数	1	1	1	1
	金額	1,218,548	1,218,548	1,218,548	1,219,000
団員退職報償基金掛金	件数	1	1	1	1
	金額	10,540,800	10,540,800	10,540,800	10,541,000
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	19,774,850	19,771,406	19,761,086	19,766,000
	割合	29.19%	30.21%	26.55%	30.24%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価	* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。	妥当性	高い
	評価項目	はい	いいえ
①	現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
②	民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③	民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④	国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤	この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価	* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。	有効性	標準
	評価項目	はい	いいえ
①	この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
②	社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③	この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④	この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比	102.7%
⑤	年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度	59.9%
			0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」を受け、団員確保。公務員の入団促進、処遇改善、装備の充実、教育訓練の標準化等が課題である。</li> <li>・上記に合わせ、「消防団員の負担軽減」についても検討する必要がある。</li> <li>・消防団ポンプ自動車の更新事業に取り組む必要がある。</li> </ul>	
改善方法	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団員確保対策として、魅力ある消防団づくりとして「消防団サポートショップ制度」「消防団協力事業所表示制度」「岡谷市入浴施設補助制度」を継続する。</li> <li>・活動服への切替え、安全機能付無線機の更新を図ったが、活動服については貸与を継続する。</li> </ul>	
	改善開始時期	平成31年4月から

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	--	---